

フジコーポレーション

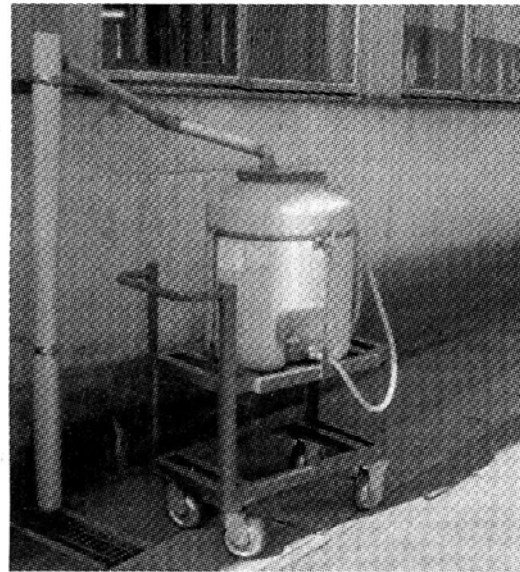
エコ事業所(新潟県)認定取得

都市ガス転換など評価

除雪機・草刈り機製造、鋼材加工などのフジコーポレーション(本社・燕市、社長・藤井大介氏)は新潟県が認定するエコ事業所に登録を申請し、昨年度の取組みに対し、今年度エコ事業所に認定された。同認定制度は省エネ対策や新エネルギー導入など

二酸化炭素排出削減に取り組み企業が社会から評価される仕組み作りを目的に09年4月からスタートした。

同社が取組みをはじめたきっかけは温暖化防止に貢献することは社会的責任と同時に除雪機を製造する同社にとって、経営環境に直結する問題であるため。



雨水を溜めるタンク

フジコーポレーションは09年度から3カ年都市ガスへの移行、設

備の効率化や電力、灯油の削減を計画しており、09年度は前年の基準年比2・1%、10年度4・1%、11年度6・2%のCO2削減率を設定している。

社内ではエコ推進委員会を立上げ各部門から数名ずつ委員を選出し、コストをかけず削減できる方法をこまめに洗い出す。特に効果が大きかったものはプロパンから都市ガスへの転換だった。工場の循環水は工場敷地に散布し打ち水効果を狙った。雨水はタンクに貯水し植栽に使用する。他には電力ピークを作

らないように、設備の電源は順番にスイッチを入れ、工場内では全照明ではなく作業エリアごとに照明をつり下げ、快適な作業照度に設定している。

社用車にはアイドリングストップのステッカーで啓蒙し、レンタカーは社員の発案で待つ。近い将来は始業時間を早めるサマータイム制の導入も検討している。退社時間が早まれば経済効果も出ると期待する。